

会議結果報告書

令和6年1月24日

会議の名称	令和5年度 加佐地域福祉センター由良川学園運営会議	
種別	<input type="checkbox"/> 附属機関 <input checked="" type="checkbox"/> 懇話会等	
開催日時	令和5年 7月19日(水) 13時30分～14時50分	
開催場所	加佐地域福祉センター(由良川学園) 2階会議室	
出席者	9名	
議題	1 委員長、副委員長の選出 2 令和4年度の利用状況 3 由良川学園の運営について 4 その他	
公開の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 公開	
	<input type="checkbox"/> 部分公開	[理由]
傍聴者数	0名	
審議結果 及び 主な意見等	別紙会議録のとおり	
会議録の作成様式	<input type="checkbox"/> 詳細 <input checked="" type="checkbox"/> 要約	
備考		

担当課	舞鶴市福祉部高齢者支援課 TEL (0773)66-1013
-----	-----------------------------------

(6) 議事第3号 由良川学園の運営について

(事務局) 資料3に基づき、舞鶴市福祉センター条例における「事業」の説明と令和5年度由良川学園の事業について説明を行った。以前には、ゲートボール教室の他に編物教室や囲碁教室等を行っていたが、災害を契機として取り止めたものや参加者の高齢化により継続が困難となり現在のところ行っていない。今後、由良川学園としてふさわしいものがあれば新規事業として実施したい。

(事務局) 団体研修事業については、加佐老人クラブ連合会の後継組織である加佐元気サロンと今後の活動やあり方を検討していきたい。同時に連合会としての位置づけである加佐元気サロンの存在意義についても検討を要する。

(内海委員長) 加佐地域においては特に高齢化で役員の成り手がない、私も舞老連の会長を何年間かやって来たが、体力が無くなり辞めさせもらった。加佐老連もそんな理由で脱退となった。加佐老連の後継組織である加佐元気サロンについては、コロナによりここ2、3年は何も活動していなかったが、先日各地域の主だった者が集まり、団体研修バス旅行の実施について協議を行った。なんとか形にしたいと思っている。事務局は加佐分室だが由良川学園も支援を望む。

(事務局) 元気サロンの活動復活は大変喜ばしい。良い報告を期待している。

(事務局) 由良川学園として特色ある事業を展開したいと考えており、「舞鶴市地域福祉センター条例」にも謳ってあるようにボランティア活動を支援する事業として何かできないか模索している。良いアイデアがあれば参考にしたいが。

(内海委員長) この地域にボランティアグループはあるのか。

(事務局) ボランティアグループを掌握している、社会福祉協議会に尋ね検討したい。

由良川学園の運営については、加佐公民館とのかねあいもあり判断が難しいが、地域に役立つ施設として何が必要なのかを考えていきたい。

(7) その他

(岩崎委員) 自治会自体も高齢化が進み、役員不足や会員減少等で自治会の存続が危ぶまれている。自治会自体の今後の事について懸念している。

地域の色々な役が、どうしても同じ人に集中してしまい、手が廻らない状態になっている。

(今西千恵子委員) 地域の老人会として活動はしているが、昔のままのメンバーがそのまま高齢となり、若い人は退職後でも入ってこない。地域の老人会自体も存続が難しくなっている。

※議事終了により内海委員長降壇

(9) 閉会 (所長)

長時間に亘り貴重なご意見をいただいた。
由良川学園の今後の運営に参考にさせていただく。
本日はありがとうございました。

14時50分 終了